

## 「神の伝道と人の働き」

吉田真司

「私たちは伝道する教会を目指します。全世界に福音を伝える使命に生き、隣人を救い主に導くためです。」(相模中央キリスト教会「五つの目標」2)

今月 27 日 (日)、私たちは特別伝道集会を予定しています。伝道とは神の業でしょうか、それとも人間の業でしょうか。ドイツの宣教学者であり、ニューギニアで宣教師として働いた George F. Vicedom は、『神の伝道 (The Mission of God)』という本を出版し、「伝道は神から始まり神に先導される業である」と述べています。しかし同時に伝道は人の業でもあります。イエス様は 12 使徒を、またステファノ、バルナバ、パウロなどを選び、伝道を委託されました。これは「神の伝道」への人間の参加を意味します。神の先導を祈りつつ、伝道のためにあらゆる人間的努力が必要とされます。パウロの手紙を読めば、彼がいかにより多くの努力と忍耐をしているかが分かります。そして彼はテモテに「御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい」(Ⅱテモテ 4・2) と勧めています。ある人はこう教えています。「伝道の動機はキリストの命令。手段は愛。方法は言葉。そして最も必要なものは強い意思と忍耐である」と。伝道は一人の人の「霊と魂と体」(Ⅰテサロニケ 5・23) を勝ち取ることです。それはこの世で最も高価な仕事であり、そうであるが故に最も困難な仕事でもあります。ですから心を合わせて祈りましょう。聖霊が私たちを満たし、私たちに力を与え、私たちを遣わしてくださるよう。「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい」(マタイ 28・19) というイエス様の命令に従い、愛を持って相手と接し、御言葉を宣べ伝えましょう。そしてその実りは、主のご計画に委ね、私たち一人一人に与えられている力を精一杯ささげましょう。

ローマの信徒への手紙 10 章 14 節にこうあります。「信じたことのない方を、どうして呼び求められよう。聞いたことのない方を、どうして信じられよう。また宣べ伝える人がなければ、どうして聞くことができよう。」さあ、「神の伝道」に参加しましょう。

## 教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
		(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

## 日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間 4-2 4-6 TEL&amp;FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>